

---

# 魔法少女リリカルなのは-幸福の黒 星(ブラック スター)-

優氣凜々

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは - 幸福の黒 星（ブラック スター） -

### 【NZコード】

N5302BA

### 【作者名】

優氣凜々

### 【あらすじ】

少年は、周りに不幸を撒き散らす不届き者……

少年は、不幸の痛みを知っている。

そんな少年を……神は憐れみ、少年に幸せな人生を与えることにした。

少年は……人を”幸せ”にするためにひた走る。

これは、そんな少年の… 最高で、<sup>さいこう</sup> 最幸な人生を綴った物語である。

オリジナル転生×魔法少女リリカルなのはの小説です。

苦手な方は回れ右で

ちなみに、オリジナル主人公の容姿は「ソウルイーター」のブラックスターとします！

ブラックスターのイメージを崩したくない方は閲覧しないことを推します。

## 『プロローグ』（前書き）

さあ、紡ぎましょ。不幸な少年の物語を……

魔法少女リリカルなのは - 幸福の黒星 -  
始まり始まり

## 『プロローグ』

- ? ? ? side -

俺はいつも日々を”どうでも良く”過ごしていた。

なぜ？まず、俺は特に人付き合いが上手い方じゃなければ、特にこれという特技とか秀でたものを持つてないからな。  
故に友達も居なきや、仲良しな奴なんて居ない。

さうに付け加えるなら、俺には”親”というものを知らない。

物心ついた時には、既にいなかつたからな。いわゆる”天涯孤独”  
つて訳だ。

そして孤児院に引き取られ、大体7年、小学6年くらいになるまで  
過ごしたが……

孤児院が火事に遭つた。放火事件に巻き込まれたらしい。子供たち  
が炎に囲まれ、中毒を起こして死んだ奴等が殆どだと言うのに……

俺が奇跡的に生き延びてしまつた。

まあ、長つたらじへ話したくないから結論を言つてしまつた。

俺は周りを”不幸”にしてしまひし。これが”どうでも良へなる”理由だ。

そして、一人暮らしを始めて5年、現在高校2年になつた。

~~~~~

「はあ……今日もみんな仲良しな」つたあな……」

現在、俺はいつも通り高校から帰るといひだつた。

高校は居心地が悪い。『ヨコハマーケーション取れだの、友達を作るだの……知つたこつちやない。

「わい……また図書館にいつてみようか……」

俺はいつも学校のあとは図書館にいく。

あそこは良い。静かで、何か自分の時間を過ごせるからな。あの空気が気に入ってる。

そんなわけで図書館に向かう途中……田口じたのは……

少女が道路を飛び出してボールを追いかけてく。その真正面には……

「……！」

な……！？ 4トンントラック！？

あんなん当たつたら……女の子が……

俺は周り迷惑を撒き散らす不届者……  
だから、今度は……

「俺が……あの女の子の……

女の子の不幸を背負つてやる……」

そうこうして俺は……女の子の元に走り、突き飛ばす。

ふとトラックを見れば、運転手は夢うつ。居眠り運転らしい。

何か、最後に良いことしたら…冷静になつたなあ…

「……もひ、誰も不幸にしたくなえ…」

そう呟き、俺の…

最悪で、最低で…ちょっとひり幸せな人生が…一瞬の鈍痛と共に終わりを告げた。

俺の目に最後に与つたのは…血のよつに赤い夕暮れだった。

## 『プロローグ』（後書き）

優氣凜々のボヤキ

ハイハイ、皆様の言い分わかります。

駄文なのに意味わからん、とお思いなんじょ？

「うじこと……テストに殺される……

氣分転換に作りました

そんな優氣凜々を……生暖かな田で見守つてやつておへんなまし……

## 第一話「神様」（前書き）

どうも……連投します！！

一 念々田中に第一話まで行けたらなーと思こます！！

## 第一話「神様」

？「…………！」何処？』

田が覚めてみると、そこは木々が生い茂った森の中だった。しかも、五体満足で。

確か俺は…………わざと、女の子を庇つてトラックに跳ねられた…………はずだ。じゃあ……！」

男「！」は、御靈の森”、天国と現世の狭間だ。』

？「つ…………誰だ！？」

声の方を振り向けば……

布地をそのまま巻き付けただけの服に、金髪で長い髪、青い瞳に……極めつけに純白の翼に頭にリング引っ付けたイケメン兄さんがいた。

男「イケメン？ふつ……モテる男は辛いぜ！」

？「あんたは誰だ？それに、いくらなんでも俺にはそっちのケはねえし、さりげなく心読むな。」

男「俺にもそっちのケはねえよ！……変な解釈すんな！……あと、質問多いわ！……」

イケメン兄さんばかりともなくハリセンを出して俺をぶつ叩いた。……ハリセンの出所が気になる。地味に痛いし……

男「それは企業秘密だ！ハツハツハ！……」

？「あつや。で？あんたは誰だ？」

男「……。まあいつか！聞いて驚くなよ？  
俺は……”神”だ！……」

……ああ、なるほど。

？「やつせ”御靈の森”つていってたしな。」

男「おお……お前すげえな……一発で信じたの？」「頭がおかしくなつてたのか。」なんでそうなる！？俺は本物だバカタレ……」

？「冗談冗談、もう死んだ時点で割りきつてる。」

男「……」

俺は今、多分憂いの混じつた笑顔になつてると思つ。神様……は悲しそうな目で俺を見ていた。

神「……お前には……悪いことしちまつたな。あんな人生……ほどんど生きた心地しなかつたろうに……」

？「良いんだよ。最後に良いことできたし、あの女の子がぶじなら……万々歳だ。」

そう、俺にとつてあれは人生で最初で最後の”良いこと”であつて、”幸せ”を感じた瞬間だった。これ以上は……いらねえ。

神「いや、お前は幸せなんて感じてねえし、何より俺の気が取まらん！」

セイジのお前にま...「転生してもいいつー...」

？「...は？」

今こいつなんつった？「転生？」いやいや、そんな都合の良いことねえし、同じ所は...

神「本当だー！あつちり転生をせいやるー記憶もそつぐりそのままな？それから、転生してもうう世界は.....お前の世界じゅねえ。

”魔法少女リリカルなのは”の世界だー」

？「...は？魔法少女リリケム？」

神「”リリカルなのは”だー！つたくー...知らないのか？」

？「知らん。」

神は落胆した顔をした。そりや、死ぬ前はそこまでそんな……えと……ケセラムなにか？

神「リリカルなのはだ！……！」

……とにかく、そういうのに興味がなかつたからな。……てか、黙つたまんま会話成立してゐるし……

神「とにかく！お前をリリカルなのはの世界に転生させるからな！……！」

？「……なんでまた俺をそんな所に行かせたがる？理由があんのか？」

神の顔に、どうしようもない悲しみが溢れた。

神「不幸な女の子たちを助けて欲しい……俺は、お前には幸せになつて欲しいが……  
彼女等にも……幸せになつて欲しいんだ。

頼む！……俺は、お前にしかできないと思つてゐるんだ！……この通りだ！……」「……

? 「.....」

不幸な女の子……か。  
どう不幸なんだか知らないが……俺はもう、人の不幸は…見たくね  
え。

? 「わかった。俺に何が出来るか知らんがな、出来る限りの努力は  
してみようじゃねえか！」

神「…やつて…くれんのか？」

? 「ああ。ただ、その世界には”魔法少女”って言つんだから魔法  
が必要なんだろ? 何かくれんのか?」

神の顔がみるみるうちに明るくなつていぐ。…ゲンキンだな…

神「ほんとか!!! ありがとよ!!!  
安心しな!! お前には魔法よりすげえ力やつから!!!

ちよつと頭借りんぜ?」

神が俺の頭に手を置いた。すると……

? 「…………がつ…………アアアアアア…………頭…………頭があ…………」

頭が…………割れるほどに痛くなると同時に、凄まじい量の情報が入りこんでくる…………

神「すまねえ…………辛抱してくれ！――一応、情報を一通りいれてから転生させるからな――！氣づいた時には転生してるようにじとくぜ！――」

? 「あ…………が…………勝…………手に…………決めや…………がつ…………て…………」

そこで俺の意識が真っ暗になった。

神「…………頼んだぜ…………”神風御黒”…………」

神の言葉を最後に…………

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5302ba/>

---

魔法少女リリカルなのは-幸福の黒星(ブラックスター)-  
2012年1月14日19時45分発行